

近未来エネルギー委員会事業計画

委員長 竹越 弘至
副委員長 川上 陽
副委員長 杉本 正史
運営幹事 久保田喜隆
会計幹事 最賀 雄美

【基本方針】

近未来型の国産エネルギー資源としてメタンハイドレート (MH) が期待されています。佐渡・上越沖をはじめ日本海近郊にも豊富な存在量が推定され、資源量把握に向けて本格的な広域調査が開始されています。しかし、直接的、間接的にも上越に多大な恩恵が見込める MH について他の新たなエネルギーの在り方も含め、市民の理解度や期待感是十分とは言えません。今こそ地域発のムーブメントを起し、未来を見据えた意識変革が必要です。

当委員会では、新たなエネルギーをキーワードに MH を主テーマとし、観光や教育など複数のテーマからその可能性に光を当てながら、夢ある近未来エネルギー都市構想を提案致します。そのために活動で得られた新しい情報を行政とシェアし、新産業の創出や企業誘致などの条件について検討を行います。同時に市民や観光客に向けて集客力や親しみ易さを併せ持ったキャラバンを広く行うことで認知と理解の向上へと努めます。その上で、5月例会ではその潜在力と実現性について考察、発表致します。また、MH 実用化の恩恵を授かる次世代の子供達に対し、夏休みの研究題材をコンセプトに体験型の MH アカデミーを開催し、近未来のエネルギーについて探求心と創造性を育む場を企画致します。そしてこれまでの活動や事業を点から線へと結ぶべく、MH と新たなエネルギーがもたらす近未来エネルギーサミットを開催致します。まちづくりの視点からこれら資源の実現期待を高める場と位置付け、活用報告やディスカッションを交えながら、委員会活動のまとめとして直江津港の活用にも触れた夢ある上越版 MH 都市構想を市民に向けて発表致します。

これまでの人類の歴史を振り返る時、それまで夢でしかなかった事が突如現実のものとなり短期間で飛躍的な生成発展を遂げる、そんな契機があります。この資源の必要性を感受し、未来への理想図を共有する市民が増えることこそ、大きな進歩へのスタートです。

【委員会職務分掌（事業内容）】

1. メタンハイドレート (MH) の理解や認知度向上事業の実施
2. 5月担当例会の開催

3. MH を体験し探求心や創造性を育む事業の実施
4. 近未来エネルギー都市構想の発表事業の実施
5. 上信越トライネット協議会への参画
6. 会員拡大の推進
7. 50周年記念事業への協力と実施